



2025年度は、12月に銚子西中学校、6月・1月に銚子中学校にて、ローカルキャリア教育プログラム「DELKUIジュニア」を実施いたしました。DELKUIは、次世代が地域の大人との対話を通じて社会とのつながりを実感しながら、主体的に将来を選び取る力を育んでいくことを目指す取り組みです。円卓会議では、学校現場と地域で働く人、関係団体をつなぐ協力の土台を整え、多様な立場が交わり学び合う、協働・共創の場づくりを進めています。

ローカルキャリア教育 DELKUI デルクイ



現在の登録活動

ご寄付も！活動へのご参加も！
登録に関するご質問も！
募集しています！



◀ この指とまれ！プロジェクト
オンライン専用サイト

- 1 ちょーぴーをお風呂にいらしてあげよう！ / 銚子商工会議所 青年部 — クリーニング費
- 2 花を植えよう！ / ナルク銚子拠点くろしお — 花苗代
- 3 ほうれんそう / 千葉科学大学 学生警察支援サークルスターラビッツ — 無線機器等備品購入費
- 4 食の大切さを銚子から伝えたい！ / 月と海 — イベント費
- 5 銚子の海を守ろう！みんなで一緒に海洋ゴミ回収！ / (有) 銚子海洋研究所 — 海洋ゴミ回収関連費
- 6 郷土の太鼓でまちを元気に！ / 銚子はね太鼓保存会 — 太鼓等修理等活動支援費
- 7 こどもたちの楽しめるお祭りやっぺよ！ / 銚子正調大漁節保存会ひびき連合会 — イベント舞台修繕等活動費
- 8 てうしの歴史を調べよう！ / 銚子郷土史談会 — 講師料等活動支援費
- 9 地球を体感できるまち銚子を楽しもう！ / 銚子ジオパーク推進協議会 — 活動費
- 10 ちょうしのたからプロジェクト / ちょうしのたからプロジェクト — 工具等用品費
- 11 つなごう！きれいな海とこどもたちの未来 / ippolabo. — 印刷製本費等
- 12 ありのままに ここちよく CHOSHI WELLNESS DAYS / CHOSHI WELLNESS DAYS 実行委員会 — イベント費等

一般財団法人 銚子円卓会議の活動全般に対して

実は 内閣官房長官賞を受賞しました！

令和7年度『あしたのまちくらしづくり活動賞』において、内閣官房長官賞を受賞いたしました！「中間支援のあり方として地域の独自性、持続性、開放性、発展性など多くの点を考慮して、明確なポリシーと豊かなアイデアのもとに運営されており、先駆的な支援活動である」との高いご評価をいただきました。

お問い合わせ

mail : info@choshientaku.com
tel : 0479-25-8870



各取り組みについて
公式サイトから
紹介しています！

銚子円卓会議



想像から 創造へ 銚子円卓会議

2026 冬

<https://choshientaku.com/>

**冬の次にやってくるのは
いつだって春なんだ！**



「Hack the way ～その課題、つながりでハックしよう！」をテーマにまちづくりワークショップを行います。地域課題・企業課題、さらには個人的な悩みまで地域内外のつながりの視点から“Hack（再編集）”して考えてみようとするDELKUI応用編！中学生から大人まで、どなたでもご参加いただけます。

2/21 (土) まちづくりワークショップ2025 vol2 開催！
Hack the way～その課題、つながりでハックしよう！
14:00-15:45 銚子市立双葉小学校
参加無料 定員40名程度 公式LINEからお申込みください！



円 その課題、
つながりでハックしよう！
卓会議主催の『まちづくりワークショップ』は、異なる世代や立場の人がそれぞれの経験や考えを持ち寄り、テーマについて対話する機会です。大人たちの本音、若い世代の率直な視点や言葉が重なり合うことで、参加した一人ひとりの中に気づきが生まれ、地域には良質なつながりが育まれています。詳しくは、銚子円卓会議公式サイト、公式LINEからご確認ください。

**銚子円卓会議
公式LINE**



ご意見・ご感想・お問合せは
こちらからお願いします！

GOOD

**円卓公式LINE、
登録はお済みですか？**

銚子円卓会議の公式LINEは、お知らせ専用ではありません！まちづくりワークショップやシンポジウム等への参加のお申込、お問合せやご相談など、双方向でのコミュニケーションが可能です。送信された内容は、事務局のみ確認できるようにになっています。地域とつながる窓口として、ご登録、お待ちしております！





OSUSOWAKE
オンライン専用サイトは
こちら！

共助のローリングストック OSUSOWAKEおすそわけ

第13回『食品産業もったいない大賞』 農林水産大臣官房長賞を受賞しました！

OSUSOWAKEは、地元産品を通じて地域経済と広報に貢献すると同時に、日常の中に防災意識と寄付文化を育む仕組みです。

平時から地域と地域が対等につながることで、有事には「遠くの親戚を思いやる」ような支援を可能にし、災害時に限らない関係人口の広がり、やさしさの連鎖を生み出しています。



また、大量生産・大量消費に依存せず、「必要なものを、必要な時に、必要な分だけ、必要な人へ届ける」持続可能な支援モデルは、SDGsの理念を体現するものとして評価され、今年度、第13回「食品産業もったいない大賞」農林水産大臣官房長賞の受賞につながりました。さらに、学生が参画することで、防災・危機管理を学びながら、地域との協働や多様なネットワーク形成が進み、教育・地域連携・地域レジリエンスを横断する実践の場としての意義も広がっています。



千葉科学大学危機管理学部木村ゼミ × 一般財団法人 銚子円卓会議

OSUSOWAKEシンポジウム2025 2025.11.8(土) 千葉科学大学防災シミュレーションセンター

本シンポジウムは、OSUSOWAKEの取り組みを起点に「共創型社会への貢献」を



第2部
配信中



伊藤 伸氏
構想日本 総括ディレクター
デジタル庁 参事

テーマとして、多様な立場の参加者が共に、地域からの実践と可能性を共有する場となりました。

第1部では、「OSUSOWAKEの今」と題し、OSUSOWAKEのこれまでの歩みと現状が報告されました。“おすそわけ”という身近な行為を地域の循環と公共性へとつなげていく試みが、具体的な実績とともに示され、参加者にとって改めてOSUSOWAKEの意義を確認する時間となりました。

第2部では、構想日本 総括ディレクターであり、デジタル庁参与も務める伊藤伸氏を迎え、「共創型社会に向けた地域からの挑戦」と題した基調講演が行われました。伊藤氏は、制度や行政の取り組みだけに頼るのではなく、地域の一人ひとりが当事者として関わり、信頼関係を積み重ねていくことこそが、市民自治と共創の土台になると事例を交えて話されました。こうした考え方は、OSUSOWAKEをはじめとする銚子円卓会議での実践とも重なり合い、地域の中にすでに芽生えている力をいかに育て、広げていくかという視点を参加者と共有する機会となりました。

第3部のパネルディスカッションでは、伊藤氏に加え、越川信一銚子市長、藤本一雄千葉科学大学学長が登壇。モデレーターは千葉科学大学危機管理学部長であり銚子円卓会議理事の木村栄宏氏が務めました。それぞれの立場から、地域における共創の可能性や課題について率直な意見交換が行われ、「連携」から一歩進んだ「共に創る」関係性の重要性が浮かび上がりました。



第3部
配信中



OSUSOWAKE第6期

第6期備蓄期間：2025年11月8日（土）～2026年11月6日（金）

共助のローリングストックOSUSOWAKEでは、1,000口の備蓄を目標に、第6期の参加受付中です！1人でも多くの皆様のご参加をお願いいたします。

また社会実装に向けた自由なアイデア、福利厚生として活用をご検討いただける企業様、OSUSOWAKEの立ち上げにご興味ある自治体の皆様、備蓄品の参画をご検討いただける企業様、さらにはリスクマネジメント等の研修を希望される学校、グループ、団体の皆さまなど、どうぞお気軽にお問合せください！メール▶info@choshientaku.com

第6期 現在の状況

備蓄口数：70口 2025.12.31
ビジネスパートナー：8社
サポートパートナー：2社
エリアパートナー：4カ所
＝千葉県東庄町 和歌山県広川町
千葉県香取市 石川県珠洲市

OSUSOWAKE
もっと詳しく！
お申込みも
こちら!!



2025年度の
新しい広がり！

レジリエント社会・地域共創 シンポジウム2025 in 銚子

2025.12.6(土)
千葉科学大学防災シミュレーションセンター

千葉大学・千葉科学大学の共同主催のもと、（一社）国立大学協会、（一財）銚子円卓会議が共催し、「分断から融和へ 食の視点から考える人と地域のwell-being」をテーマにシンポジウムを開催しました。



このシンポジウムは、研究成果の発表にとどまらず、地域における多様なまちづくりの主体の連携の現在地を可視化し、今後の実践に向けた共通理解を確認する場となりました。学術と実践が相互に作用しながら発展していく可能性が、確かな手応えとして共有されました。



分断から融和へ

食の視点から考える
人と地域のwell-being

千葉大学 千葉科学大学 共同主催
■共催：一般社団法人 国立大学協会
：一般財団法人 銚子円卓会議
■後援：千葉県 銚子市 銚子商工会議所

【第一部】基調講演

講演者：小谷 真吾／千葉大学人文科学研究院 教授

テーマ：「食、レジリエンス、そして地域創生」

講演者：木村 栄宏／千葉科学大学危機管理学部長・教授

テーマ：「危機管理の視点から食と地域のレジリエンスを考える
：分断状況を克服するリスクマネジメントとは」

【第二部】分野横断を意識した

地域における先進的な取り組み事例

講演者：根本 吉規／根本商店 専務

テーマ：「共助と商助を引き出すOSUSOWAKEを通して
レジリエントな地域社会への挑戦」

講演者：坐古 拓也／銚子葡萄酒醸造所座古萬蔵商店 代表

テーマ：「気前の良い漁師文化を街に再び！銚子のワイナリーの挑戦！」

講演者：飯田 訓文／磯初 代表

テーマ：「生産・販売・広報・消費の未来を紡ぐ
銚子メロン共創プロジェクト」

【第三部】パネルディスカッション

モデレーター：和田 健／千葉大学国際学術研究院長・教授
パネリストゲスト：

大塚 憲一／銚子市漁業協同組合 専務理事

石毛 康弘／銚子市漁業協同組合 常務理事

室井 房治／山十商店 代表、千葉科学大学 招聘教授